

REPORT FOR Q1 2026

01/2026



PERSONAL STATEMENT | 自己紹介

1989年頃より、当時のアップルコンピュータジャパン（現Apple）のMacintoshを用いたディーラー向けトレーニングマニュアルのDTP制作を中心とした業務に携わる。

1990年頃からは、コンピュータを活用したテレビ番組やプレゼンテーションシステムの設計・開発に従事。以降、博物館・科学館・美術館などの公共施設向けに、ゲームや情報検索システム、映像・音響を組み合わせたプレゼンテーションシステム、CD-ROM等のコンテンツ企画・設計・プロデュースを多数手がける。

また、NHKおよびNHK関連会社、公的機関向けのe-Learningコンテンツの企画・設計・プロデュースを担当し、その後はWebやモバイルアプリ分野において、コンサルティング、コンテンツ設計、UI/UX・インターフェース設計、シナリオ作成、コピーライティングなど幅広い業務を経験。

近年は、IoTデバイスと連携したスマートシステムのUX/UI設計や仕様設計に携わり、現在はWeb・アプリ・IoT関連システム開発プロジェクトにおいて、コンサルティング、企画、UI/UX設計、仕様設計、開発ディレクションおよびプロジェクトマネジメントを中心に活動。

さらに2022年頃より、BtoB・BtoBtoC向けSaaSアプリ開発にも参画し、UI/UX設計、インターフェースデザイン、要件定義から基本設計までを担当。

From around 1989, I was engaged primarily in DTP production for dealer training manuals using Macintosh computers for Apple Computer Japan (now Apple).

From around 1990, I worked on the design and development of computer-based television programs and presentation systems. Since then, I have been involved in numerous projects for public facilities such as museums, science centers, and art museums, handling the planning, design, and production of content including games, information retrieval systems, and presentation systems combining video and audio, as well as CD-ROM content.

I have also been responsible for the planning, design, and production of e-learning content for NHK, NHK-affiliated companies, and public institutions. Subsequently, I gained broad experience in the web and mobile application fields, including consulting, content design, UI/UX and interface design, scenario writing, and copywriting.

In recent years, I have been involved in UX/UI design and specification design for smart systems integrated with IoT devices. Currently, I focus on consulting, planning, UI/UX design, specification design, development direction, and project management for web, application, and IoT-related system development projects.

Additionally, since around 2022, I have participated in the development of SaaS applications for B2B and BtoBtoC markets, taking responsibility for UI/UX design, interface design, and processes ranging from requirements definition to basic system design.

PROFESSIONAL STRENGTHS | アピールポイント

Over approximately 30 years, I have been involved from the early startup phase of venture companies, contributing as a Board Director and COO to overall project leadership, corporate management, and organizational growth (from three founding members to a team of 45).

I have extensive experience serving as Executive Director on large-scale projects involving more than 60 members and websites exceeding 2,400 pages, taking responsibility for overall management as well as leading information architecture and UI/UX design. I have successfully driven projects of various scales, from small to large.

My experience extends beyond websites to include smartphone applications, custom PC applications, applications integrated with video/audio equipment and IoT devices, as well as projects in program production, video production, and audio production. I have participated in these diverse projects as a PM/PMO, leveraging cross-domain knowledge gained from each field as a core strength.

I have rich hands-on experience across the entire project lifecycle, from consulting based on identifying client needs and challenges, through requirements definition and information architecture, to development and testing direction.

Leveraging my knowledge of systems and programming, I collaborate closely with development teams to define core specifications and development policies. At the same time, drawing on my background as a designer, I consistently drive UX concept structuring, art direction, UI design, and the establishment of design rules.

Through experience in these diverse roles and positions, I possess strong oversight capabilities and high execution power with a comprehensive view of projects. My particular strengths lie in requirement and issue structuring, requirements definition, information architecture (IA), UI/UX design, specification design, and project management.

これまで約30年にわたり、ベンチャー企業の立ち上げ期から参画し、取締役・COOとしてプロジェクト統括、企業経営、組織拡大（創業メンバー3名から45名規模）に寄与してきた。

最大60名超、サイト規模2,400ページ以上の大規模プロジェクトにおいて、統括ディレクターとして全体管理を担うとともに、情報設計およびUI/UX設計の責任者としての経験を有し、小規模から大規模まで幅広いプロジェクトを推進してきた。

また、Webサイトにとどまらず、スマートフォンアプリ、PC向けカスタムアプリケーション、映像・音響機器やIoT機器と連携するアプリケーション、番組制作・映像制作・音響制作など、多様な領域のプロジェクトにPM/PMOとして参画し、そこで得た知見を横断的に活用できることを強みとする。

クライアントの要望や課題の抽出からコンサルティングを行い、要件定義、情報設計、開発・テストのディレクションに至るまで、全工程を通じた実務経験が豊富である。

システムおよびプログラムに関する知見を基に、開発メンバーとの協議を通じて基本仕様設計や開発方針の策定を行うとともに、デザイナーとしてのバックグラウンドを活かし、UXの基本概念整理、アートディレクション、UI設計、デザインルール策定までを一貫して推進可能。

これら多様な立場・役割での経験を通じ、プロジェクト全体を俯瞰した統括力と高い実行力を備えており、特に要望・課題整理、要件定義、情報設計（IA）、UI/UX設計、仕様設計、プロジェクトマネジメントを強みとする。

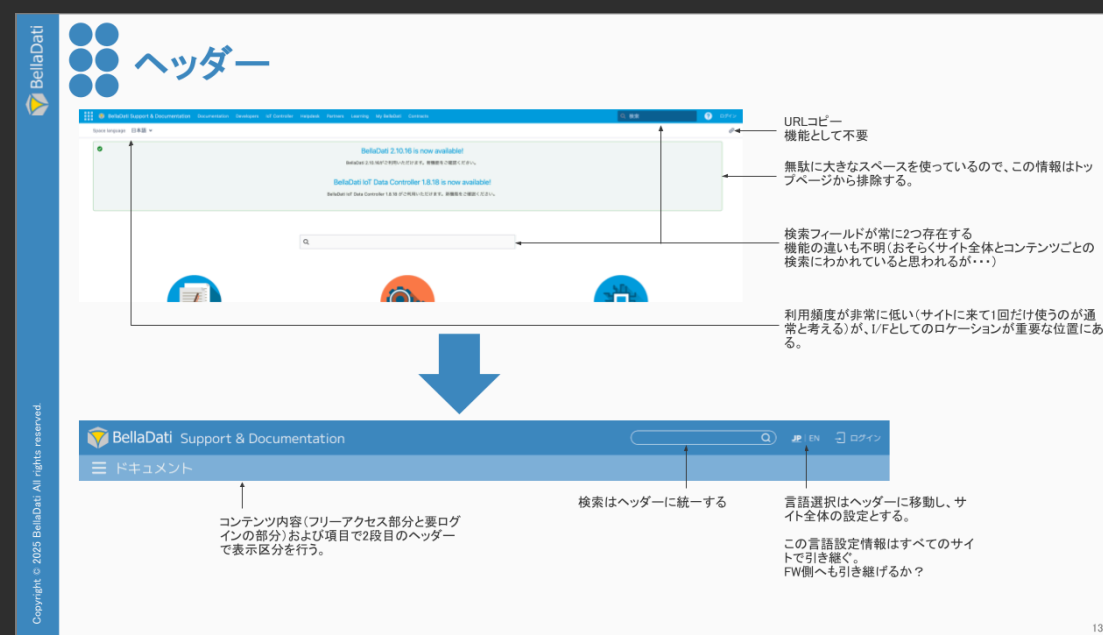
Section1 SPECIFICATION

UI/UX Design | Specification Design | Requirements Definition

Project Creative Brief



Support Sites Rebuild Project Creative Brief



- Project Management, IA, UI/UX Design, and Visual Design
- Creative Brief for Project Kickoff
- A document prepared at the start of the project to communicate the project overview and confirm direction with all development members and related staff.
- It includes:
 - Overall project direction and objectives
 - Target goals for the project
 - Schedule and timeline
 - Rules and guidelines
 - Participating team members
- Purpose: To unify understanding among all team members, ensure smooth project execution, and maintain consistent, focused development throughout the project.

クリエイティブブリーフ

マニュアル刷新プロジェクト (重要度・緊急度高)

プロジェクト名
BDマニュアル/サブシステム刷新プロジェクト

プロジェクト概要

- 現在のヘルプデスク、マニュアル、カスタマーポータル、パートナーポータルは2013年から継ぎ足しで作られているため、これを刷新する。
- 利用中のJIRAはすでに保守切れでセキュリティ面に課題ありとの認識。
- マニュアルの内容も、「市民開発」が「広くあまねく浸透」させるには、内容がかなり乏しいため、CSが向上していない。モグラ叩きでつづいでいくのではなく1からマニュアルの内容を定義して、チェコと日本が分担して記述したい。

プロジェクトの目標

- BellaDatiサポートサイトが、本当の意味でマニュアルおよびユーザーサポートとして機能することを目指す。
- どのようなレベルのユーザーでも、マニュアルに従って学習することで、BellaDati Frameworkのスペシャリストになれることを目指す。
- UIの統一を図り、以降BellaDatiが提供するユーザー向けサイトは、同じUIを利用しブランドイメージを固定する。

プロジェクトオーナー
Shusuke & Jan

開発メンバーおよびロール

- Jan: コンテンツ執筆
- Ayumi: 翻訳サポート(テキスト部分)
- Ichiro: コミュニケーション
- Makoto: 10月以降
- Kotaro: プロジェクトマネージメント | UI/UXデザイン

ターゲットユーザー

開発

BDマニュアル刷新プロジェクト

ターゲット

○月○日

○月○日

○月○日

○月○日

○月○日

○月○日

○月○日

○月○日

○月○日

○月○日

○月○日

○月○日

JP

サイト精査

各サイト内コンテンツ構成検討

項目概略検討

コンテンツ執筆

日本語訳 (AI?)

日本語精査・校正

Confluence登録 (日本語版)

Confluence登録 (英語版)

サイトチェック

リリース

GZ

アサインメンバー

○○○○

○○○○

○○○○

○○○○

○○○○

○○○○

○○○○ / ○○○○

○○○○

○○○○

HomeOS "v-ex"

V-exアプリ仕様 ID: 20 ホーム画面 (通常設定) 1

17



・設定されているリモコンを表示する。

「編集」
→編集画面 (ID: 21) を表示。

「画面名称」
→ロゴを表示

「温度/湿度/照度/気圧」
→ホーム画面表示時に都度データ取得
→画面下フリックで再取得
→数値は整数の表示 (アプリ側でサーバーデータを整数に丸める: 小数点第一位で四捨五入)
→センサーデータ表示下部等にデータの取得日時を表示する (データ取得時にサーバーからレスポンスされる)。アプリ側は基本的にサーバーに保存されているデータを表示する形となる。

「テレビリモコン」
→電源ON/OFF、チャンネル上下の機能

「more (>)」
→テレビリモコン画面 (ID: 29) へ遷移

「エアコンリモコン」
→電源ON/OFF、温度上下の機能

「more (>)」
→エアコンリモコン画面 (ID: 30) へ遷移

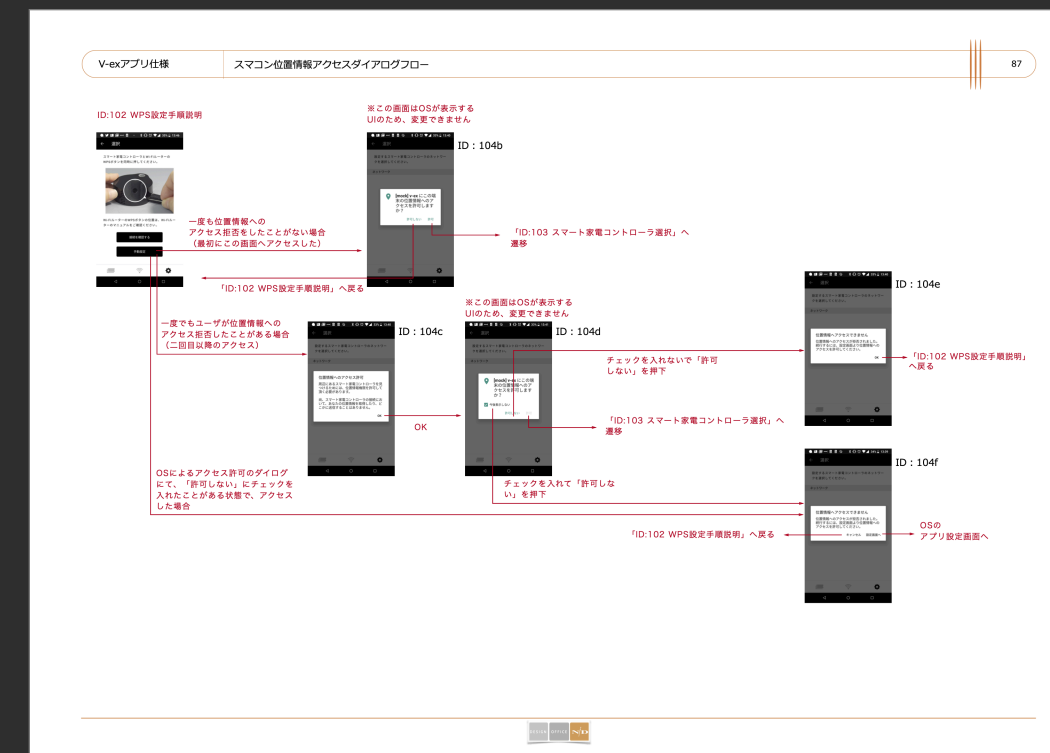
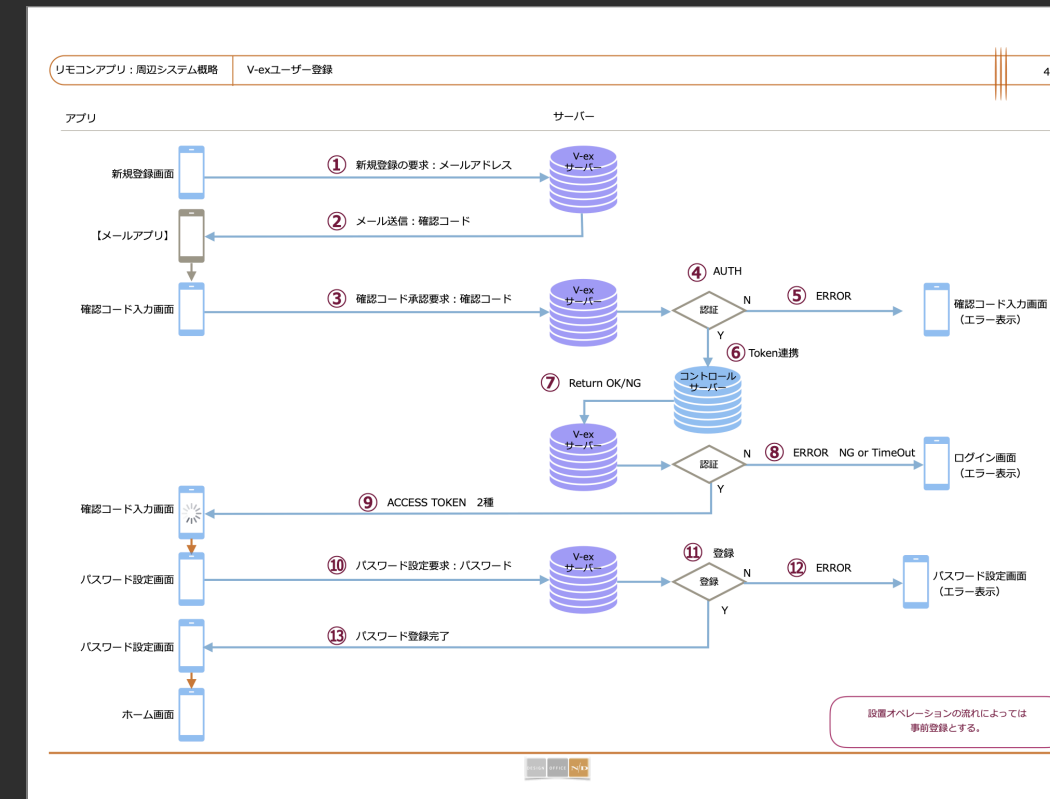
「照明リモコン」
→電源ON/OFF、照度変更の機能

「more (>)」
→照明リモコン画面 (ID: 31) へ遷移

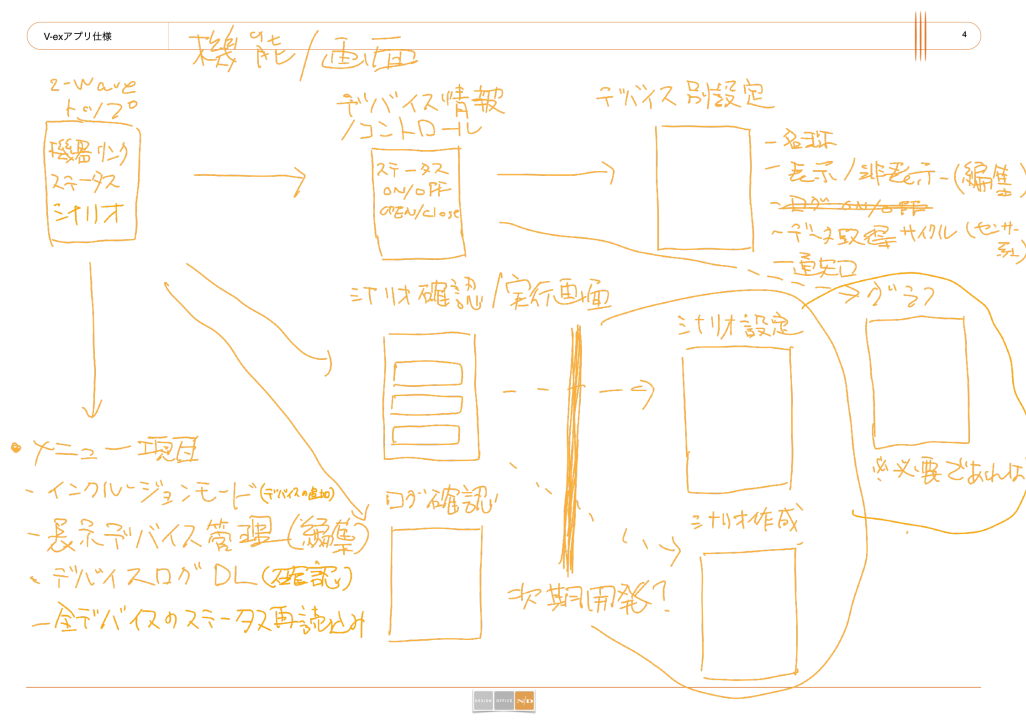
※リモコンがファーストビューに収まらない場合は、下スクロールで表示できるようにする。

| Action | 通信内容 | 方向 | 通信先 |
|----------------|------------------|----|--------------|
| 各リモコン機能 | リモコンコード送信 | → | コントロールサーバー |
| | リモコンコード送信 | ↓ | MQTTサーバー |
| | リモコンコード送信 | ↓ | V-ex端末 |
| 家電機器 | IR送信 | ← | スマート家電コントローラ |
| | 送信完了 | ↓ | スマート家電コントローラ |
| | 送信完了 | ↓ | V-ex端末 |
| | 送信完了 | ↓ | MQTTサーバー |
| アプリ | 送信完了 | ← | コントロールサーバー |
| ホーム画面 | 温度/湿度/照度/気圧データ要求 | → | コントロールサーバー |
| ホーム画面 | データリターン | ← | コントロールサーバー |
| ホーム画面 (下フリック時) | 温度/湿度/照度/気圧データ要求 | → | コントロールサーバー |
| ホーム画面 | データリターン | ← | コントロールサーバー |

| Code | 出現条件 | エラー文言 |
|----------|------------------|---|
| err-z000 | 通信エラー等 | 通信に失敗しました。しばらくしてから再度お試しください。 |
| err-a008 | リモコンからのリターンが無い場合 | スマート家電コントローラからの応答がありません。スマート家電コントローラの電源が入っているか、もしくはインターネットに接続されているかを確認してください。 |



- Responsible for project management, development direction, requirements definition, specification design, UI/UX design, and visual design.
- This was a greenfield project for a home IoT system integrating the IoT platform "v-ex" with a dedicated application. The system enabled control of various home appliances and connected IoT devices, as well as monitoring and management of data and operational status from IoT devices and sensors, achieving automated operation control through device integration.
- Additionally, collaborated with SEs on overall system design, including data communication with multiple servers such as authentication servers, MQTT servers, and data servers, ensuring full IoT device control.
- Also conducted functional verification using actual devices, identified usable features for the system, and defined the complete system specifications based on detailed understanding of each IoT device's capabilities and specifications.



V-exアプリ仕様 ID: 30 エアコンリモコン 31

・最新リモコンコードに基づき、
・更新が必要な場合のみアップデートする。

| Action | 通信内容 | 方向 | 通信先 |
|---------|-----------|----|--------------|
| 各リモコン機能 | リモコンコード送信 | → | コントロールサーバー |
| | リモコンコード送信 | ↓ | MQTTサーバー |
| | リモコンコード送信 | ↓ | V-ex端末 |
| 家電機器 | IR送信 | ← | スマート家電コントローラ |
| | 送信完了 | ↓ | スマート家電コントローラ |
| | 送信完了 | ↓ | V-ex端末 |
| | 送信完了 | ↓ | MQTTサーバー |
| アプリ | 送信完了 | ← | コントロールサーバー |

エラーリスト

| Code | 出現条件 | エラー文言 |
|----------|------------------|---|
| err-z000 | 通信エラー等 | 通信に失敗しました。しばらくしてから再度お試しください。 |
| err-a008 | リモコンからのリターンが無い場合 | スマート家電コントローラからの応答がありません。スマート家電コントローラの電源が入っているか、もしくはインターネットに接続されているかを確認してください。 |

V-exアプリ仕様 ID: 31 照明リモコン 32

・最新リモコンコードに基づき、
・更新が必要な場合のみアップデートする。

| Action | 通信内容 | 方向 | 通信先 |
|---------|-----------|----|--------------|
| 各リモコン機能 | リモコンコード送信 | → | コントロールサーバー |
| | リモコンコード送信 | ↓ | MQTTサーバー |
| | リモコンコード送信 | ↓ | V-ex端末 |
| 家電機器 | IR送信 | ← | スマート家電コントローラ |
| | 送信完了 | ↓ | スマート家電コントローラ |
| | 送信完了 | ↓ | V-ex端末 |
| | 送信完了 | ↓ | MQTTサーバー |
| アプリ | 送信完了 | ← | コントロールサーバー |

エラーリスト

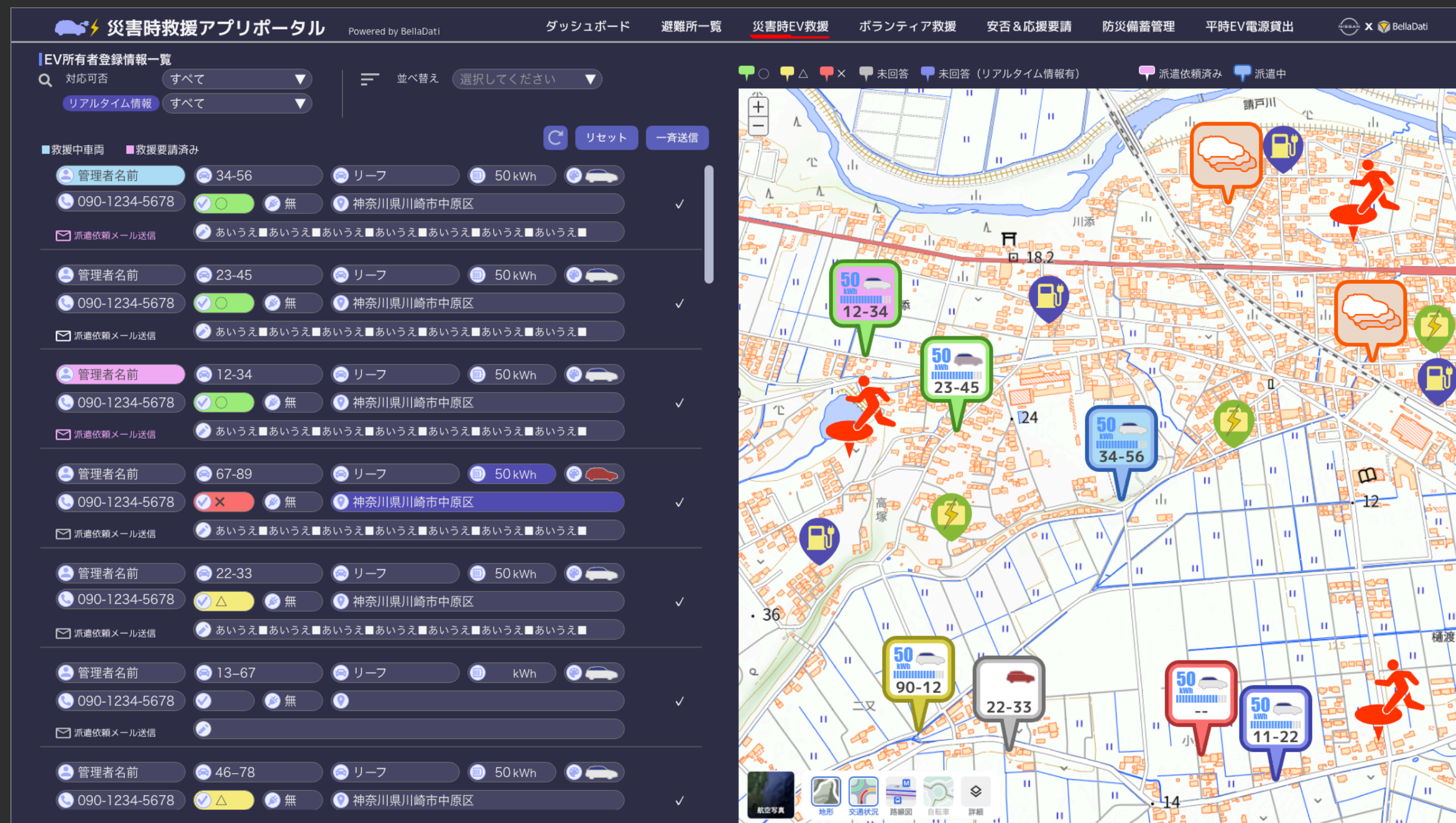
| Code | 出現条件 | エラー文言 |
|----------|------------------|---|
| err-z000 | 通信エラー等 | 通信に失敗しました。しばらくしてから再度お試しください。 |
| err-a008 | リモコンからのリターンが無い場合 | スマート家電コントローラからの応答がありません。スマート家電コントローラの電源が入っているか、もしくはインターネットに接続されているかを確認してください。 |

Section2

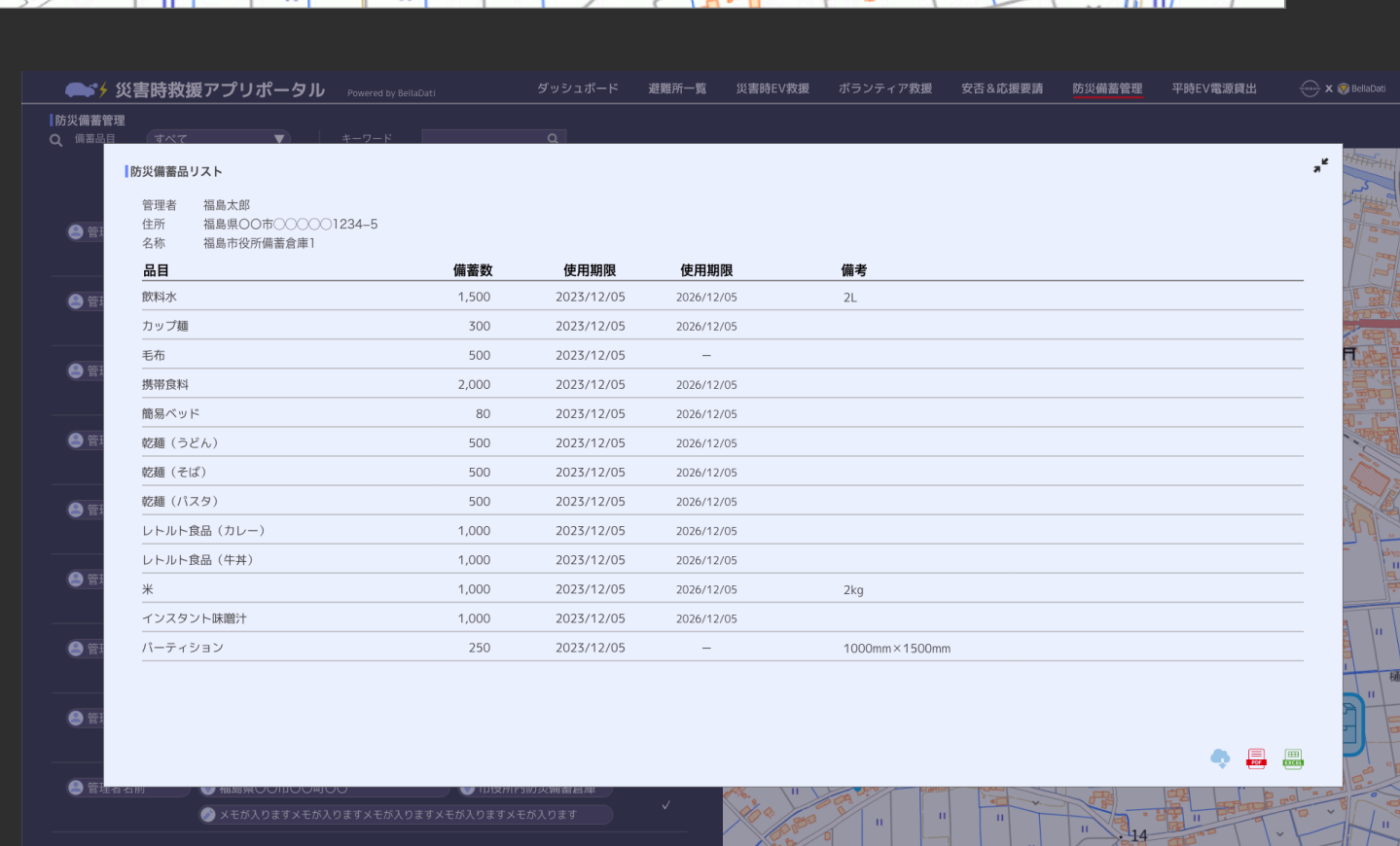
UI/UX DESIGN

UI/UX Design | Interface Design

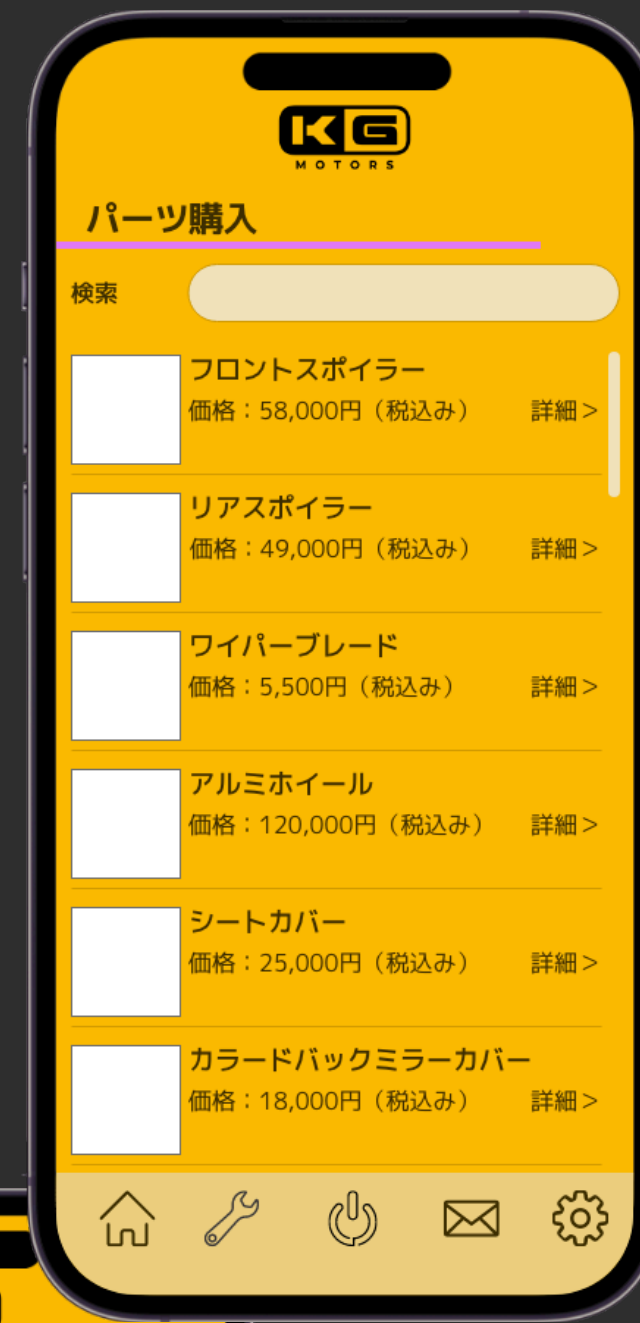
Disaster Response EV Vehicle Dispatch System



- Assisted project management, development direction, requirements definition, specification design, UI/UX design, and visual design.
- The goal of this application was to streamline EV vehicle dispatch operations during disasters, which were previously manual and could take several hours, enabling rapid decision-making and vehicle deployment. The primary objective was to dispatch vehicles to destinations such as evacuation centers as quickly as possible by accelerating dispatch decisions, immediate request transmission, and real-time tracking of available vehicle information.
- The system integrates vehicle location data, battery status, charging station information, and evacuation site details, visualizing them on a map to enable rapid decision-making from request reception to dispatch assignment and estimated arrival time calculation. This allows prompt, accurate instructions that were previously difficult to achieve.
- Additionally, the system provides visual cues for battery-based vehicle rotation and optimal replacement timing, supporting reliable and efficient dispatch. Visibility was tested for outdoor use on smartphones and tablets, with display comparisons conducted for both dark and light mode to ensure usability in various conditions.

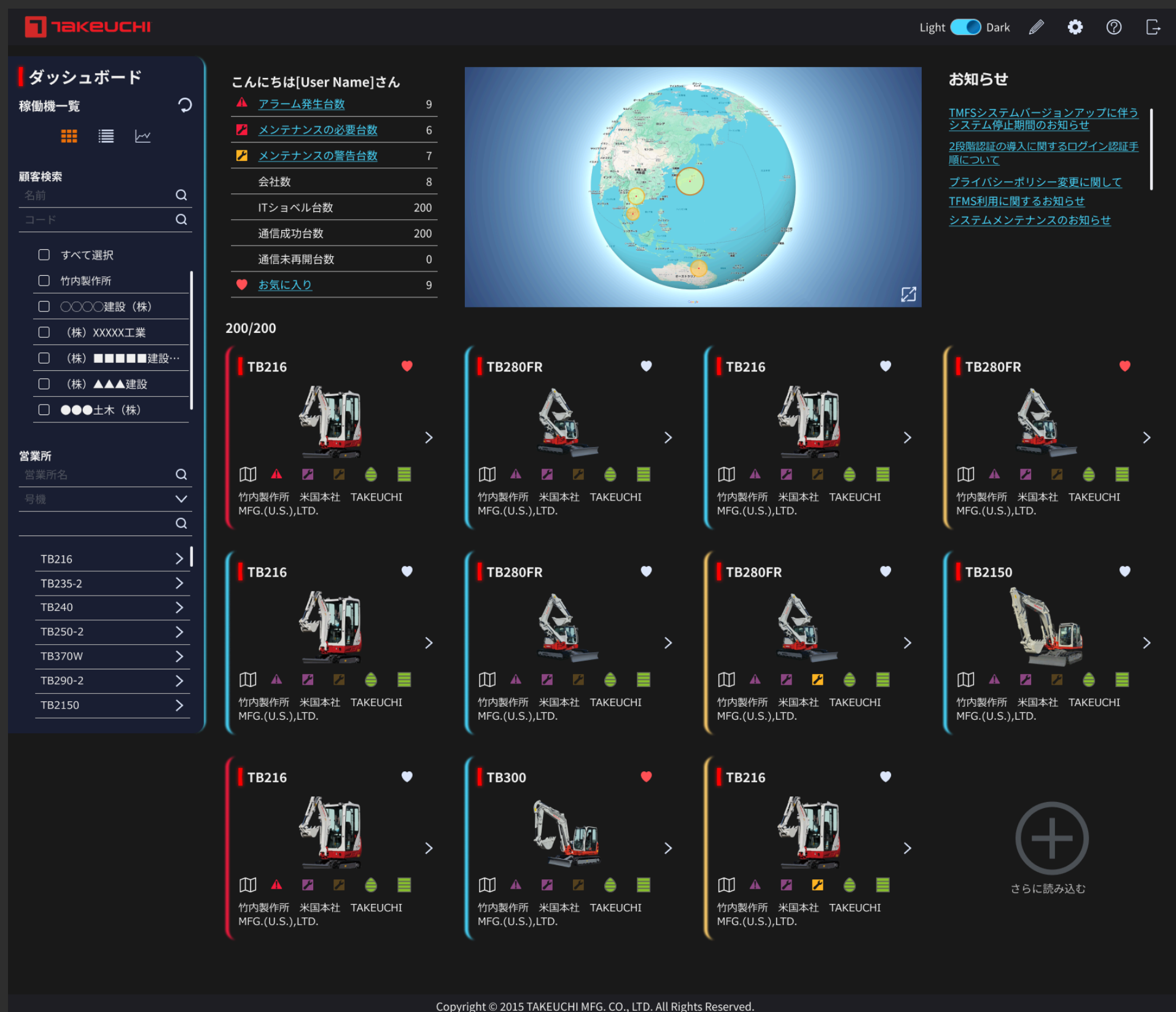


EV Vehicle Management and Purchase Support System App

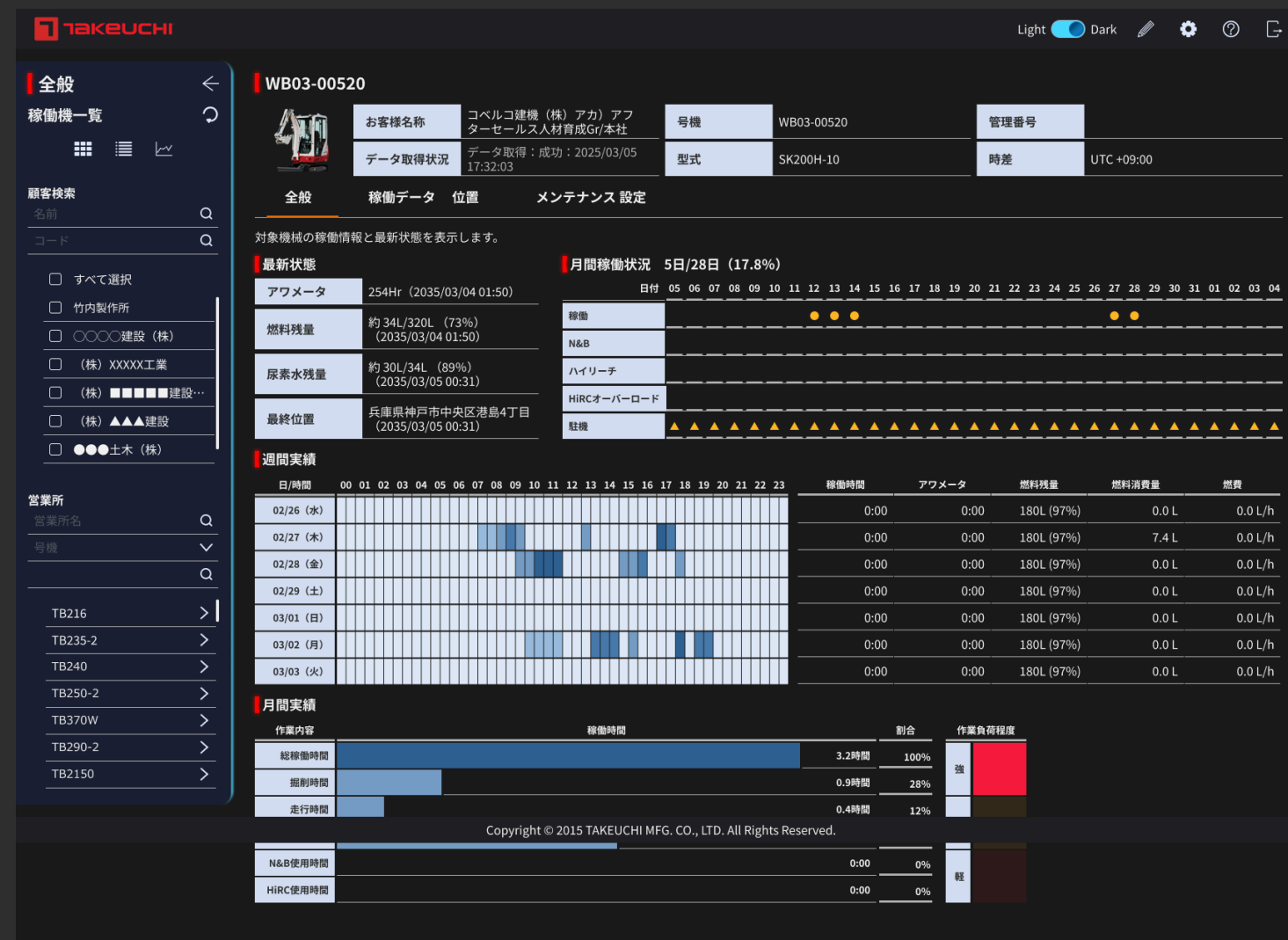


- This application was designed as a test-development app for EV vehicle purchase and maintenance management.
- While reflecting the playful and approachable aesthetic seen in vehicle designs and corporate websites, the goal was to create an interface that is intuitive and easy to use, maintaining the same friendly impression.

Fleet Management System



- Responsible for requirements definition, specification design, UI/UX design, and overall design.
- This application visualizes the operational status of each vehicle and manages maintenance and consumable information, including predictive data, to enable early maintenance, extend vehicle lifespan, and reduce the risk of failure.
- The dashboard displays a list of vehicles along with maintenance predictions and target areas as color-coded Kanban cards for each vehicle, allowing users to instantly grasp necessary maintenance information.
- Vehicle data is shared with both the owning company and maintenance providers, facilitating timely consideration of maintenance schedules and parts procurement, thereby improving overall operational efficiency.



Takeuchi Fleet Management System FAQ

カテゴリ

ログイン設定 | ダッシュボード | 統計データ | 設定 | 表示設定

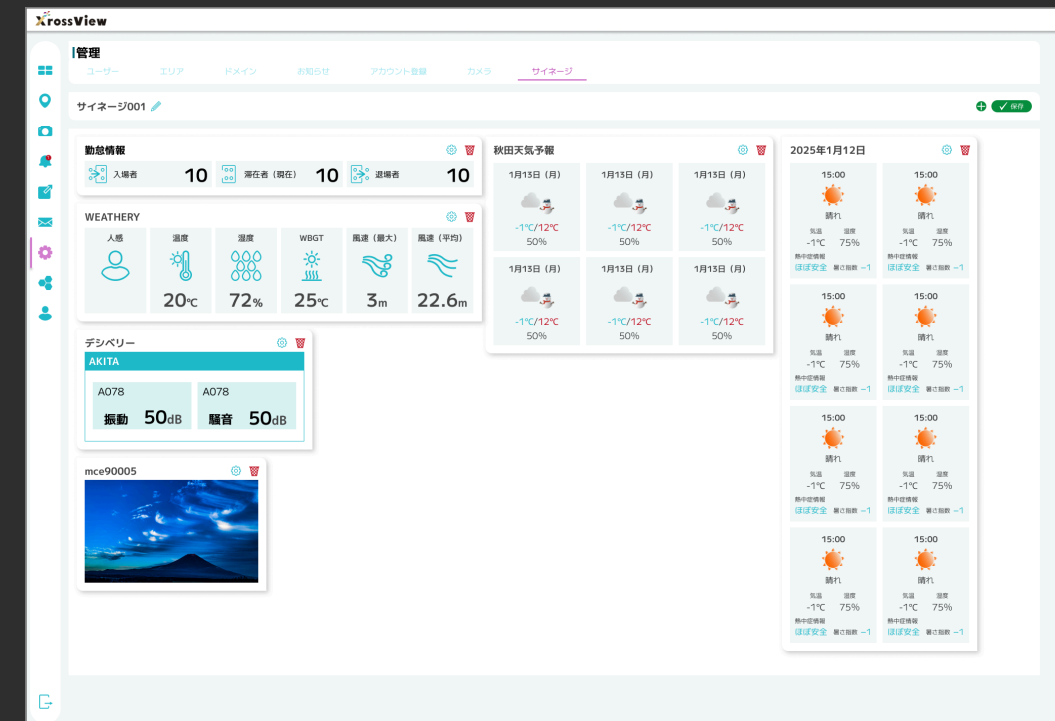
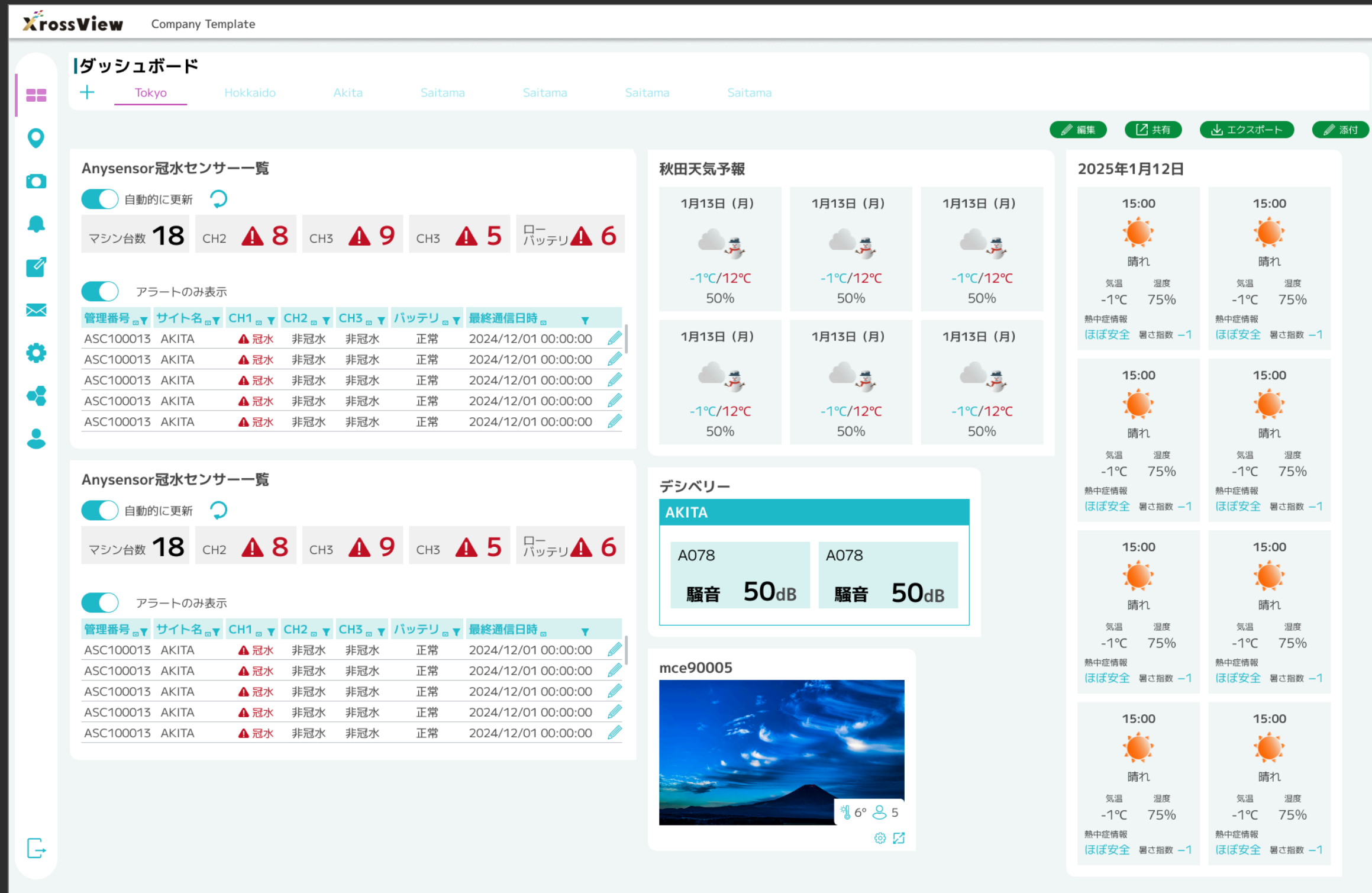
よくあるご質問

- ログインIDが不明です。
- パスワードがわかりません。
- メールの設定はどのようにしますか？
- 統計データの見方がわかりません。
- 表示実績の変更はどこで行いますか？

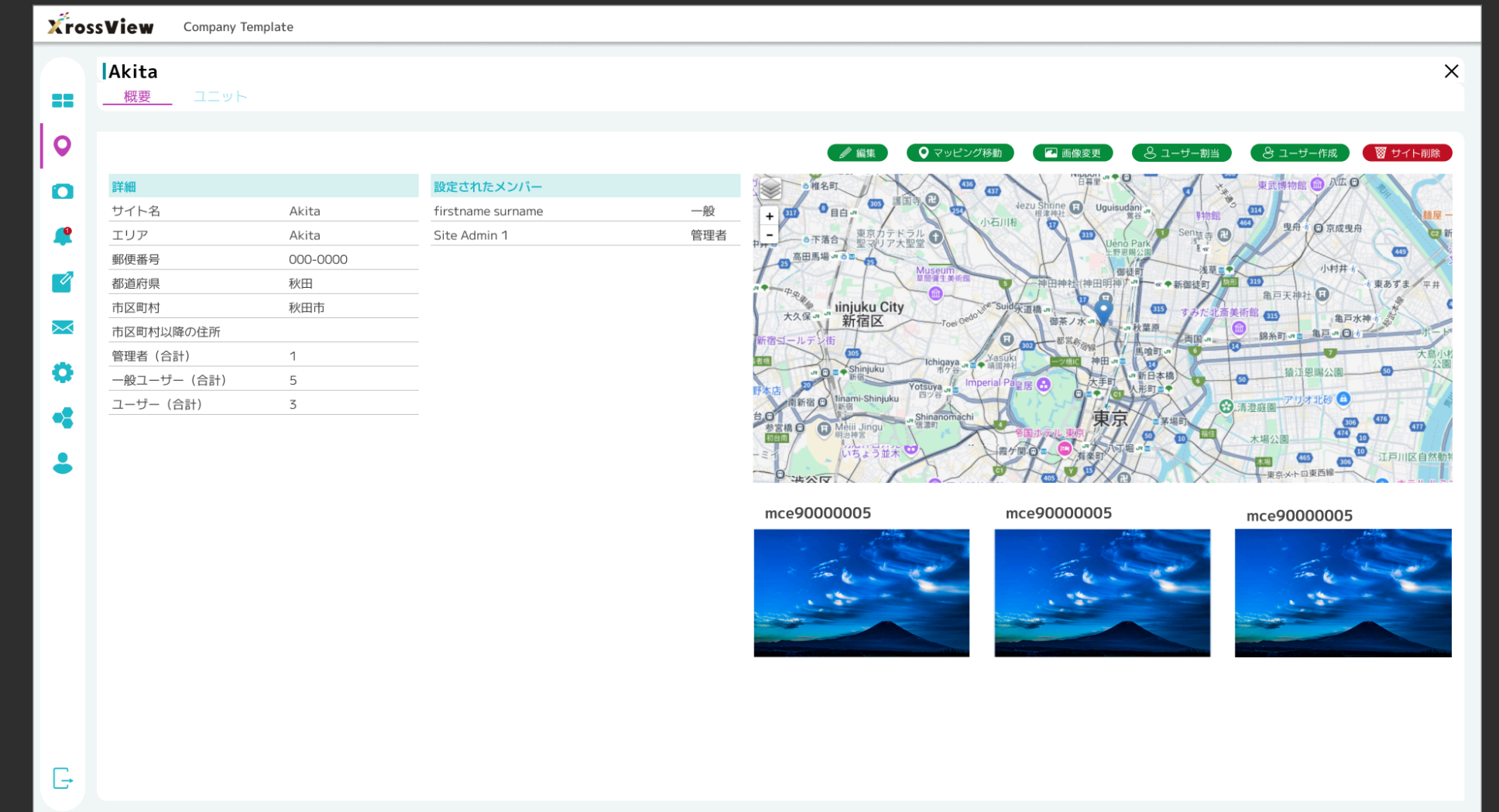
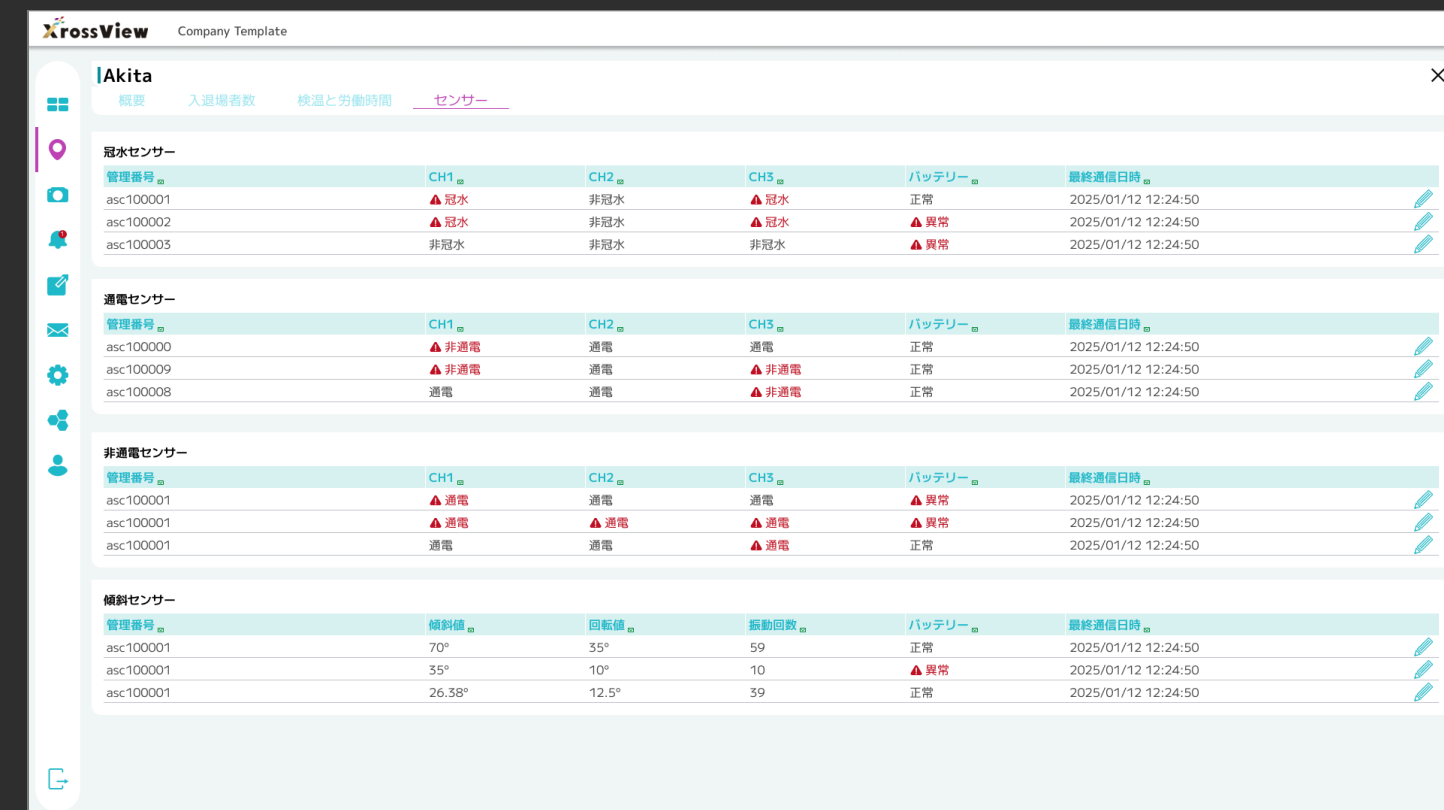
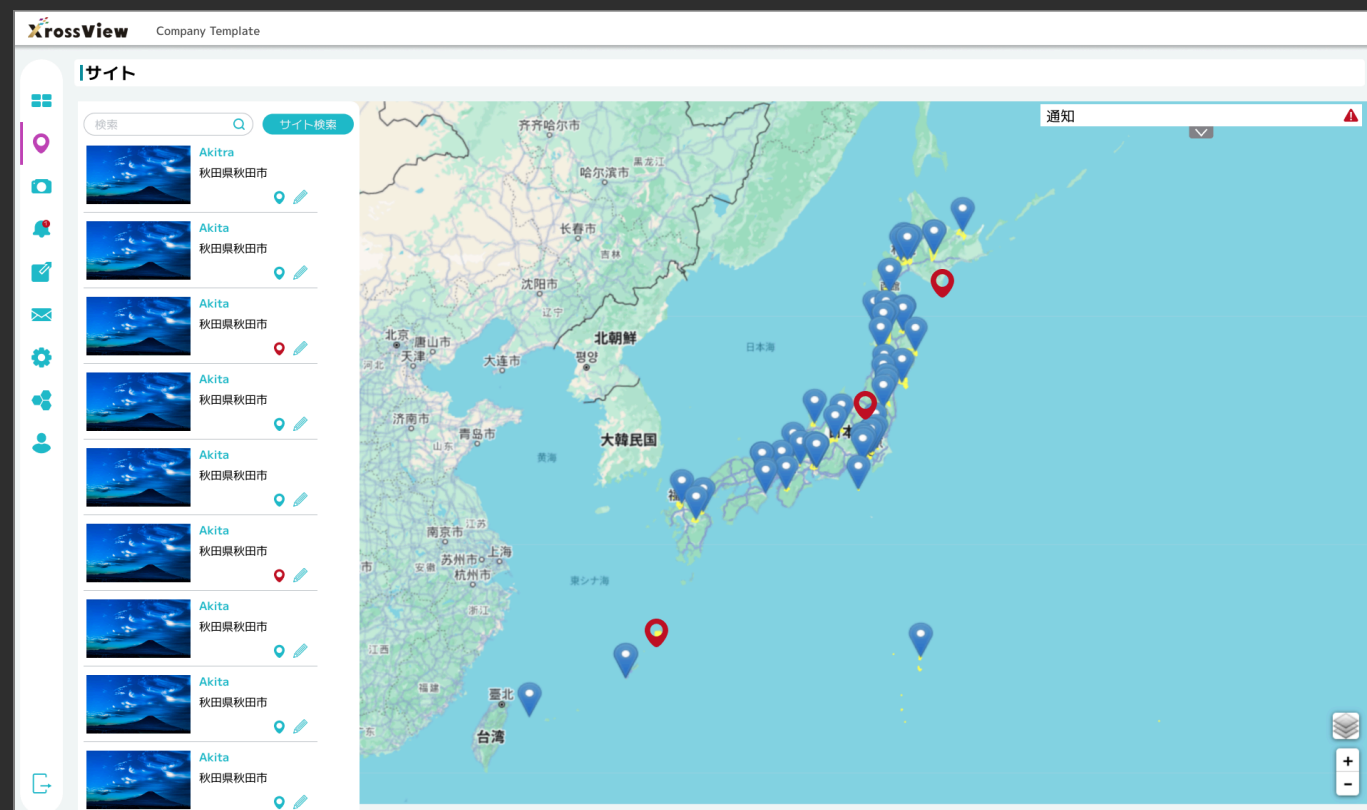
ログインFAQ

- ログインIDが不明です。
- ログインパスワードを忘れました。
- ログアウトはどのように行いますか？
- 利用権限がログアウトをしなくても残りますか？

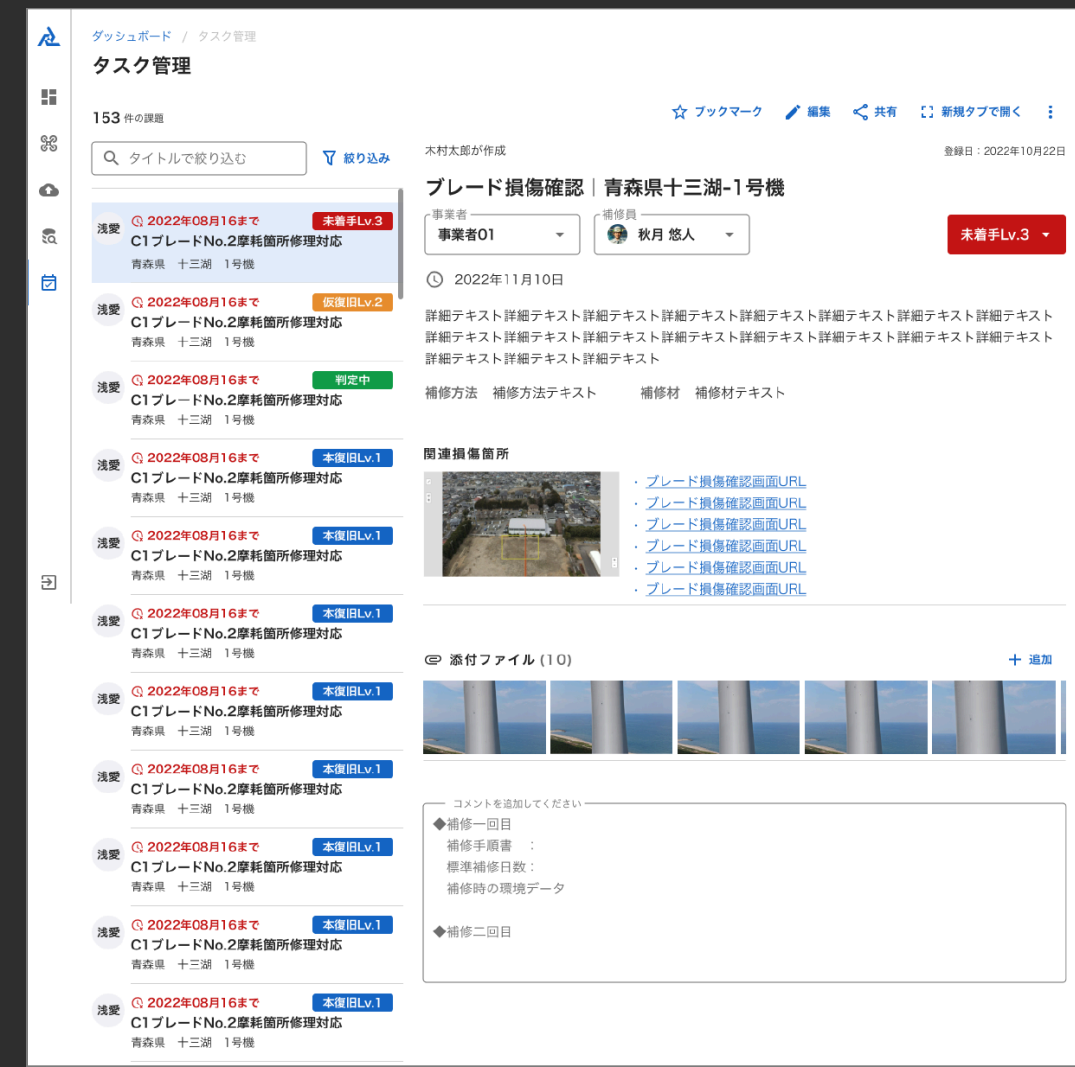
Construction Site Management System



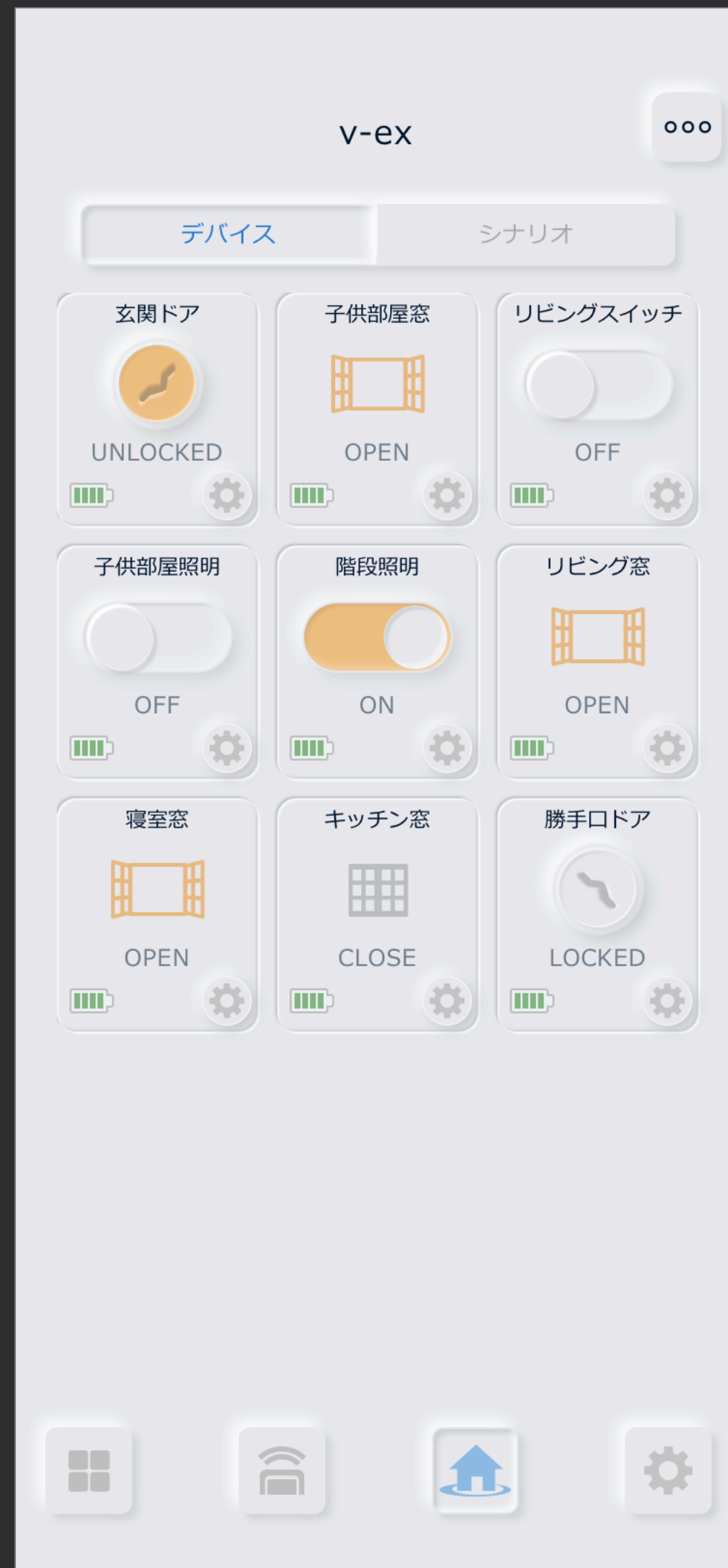
- Assisted the PM and was responsible for development direction, requirements definition, specification design, UI/UX design, and overall design.
- This system was designed to ensure safety on construction sites and enable remote management and supervision by clearly visualizing essential information, thereby improving operational efficiency.
- The dashboard was designed to allow creation for each site, enabling quick access to information specific to each location.
- For enhanced safety, the system allows information sharing with the site via digital signage, and administrators can edit content to flexibly display necessary information according to the situation.
- In terms of design, simplicity and high visibility were prioritized, with a functional layout that is intuitive and easy to understand.



AI Bridge Inspection System & Wind Turbine Blade Inspection System



- Responsible for UI/UX design.
- The bridge inspection system analyzes drone footage captured during bridge construction using AI, and automatically detects discrepancies from the original design by comparing the results against design drawings. The system also auto-generates inspection reports and correction request documents.
- Similarly, the blade inspection system uses AI diagnostics based on drone footage to detect damaged areas, and automatically generates inspection reports and repair request documents.
- Traditionally, these inspection tasks relied heavily on manual visual checks, often involving work at height, which posed significant safety risks as well as considerable time and labor costs.
- By leveraging AI diagnostics, the system enables rapid identification of issues and significantly streamlines subsequent response processes.
- The final design allows users to visualize AI diagnostic results and image data, enabling human judgment on the necessity of renovation or repair. The UI/UX design places a strong emphasis on visualization to support a smooth end-to-end workflow — from reviewing inspection results and determining response plans, to scheduling and submitting renovation or repair requests.



- Responsible for project management, development direction, requirements definition, specification design, and UI/UX design.
- The initial design adopted a flat design approach; however, user research conducted through prototype testing revealed that screens with a large number of buttons were difficult to operate intuitively. Follow-up user interviews further highlighted issues with the visibility of interactive elements and unclear affordance of buttons, prompting a review of the overall design direction.
- Based on these findings, the design was rebuilt around a neumorphism-based approach while avoiding excessive ornamentation, resulting in a simpler and cleaner interface that improved the recognizability and intuitiveness of interactive elements.
- Additionally, the features implemented for each IoT device were carefully organized, and the on-screen placement and layout were designed based on the frequency of use and importance of each function. This enabled the creation of an optimized interface design tailored to the characteristics of each device.

